

公明党

令和3年度施政方針について



名村 嘉洋 議員

YOSHIHIRO NAMURA



「安心して子育てできるまちをつくる」から

問 将来、高校生等への入・通院医療費の自己負担額を所得制限なく全額助成する考えはあるのか伺う。

答 入・通院とも対象とした場合の助成額を試算したところ、年間約5千6百万円の扶助費が必要と見込まれることから、まずは、入院医療費の全額助成とした。所得制限の廃止や入院・通院の全額助成の要望があることは理解しており、今後とも、財源確保の状況を注視しながら、持続可能な施策を目指し、検討していきたい。

「高齢者が暮らしやすい環境をつくる」から

問 「はいかいのおそれのある認知症高齢者等が外出中、偶発の事故等によって、法律上の損害賠償責任を負った場合に備え

て、市が個人賠償責任保険等に加入し賠償することで、認知症高齢者やその家族の経済的リスクを軽減し、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援する」とある。認知症高齢者の方々の在宅生活環境を少しでも向上させたいという狙いがあると考えますが市の見解を伺う。

答 このような支援は、兵庫県下で4例目、賠償保険の内容は上限額3億円と一番手厚い内容となっている。狙いとしては、はいかい高齢者等SOSネットワーク事業への登録者が増え、所在不明時の早期発見・早期保護につながることで、認知症初期集中支援チームが介入しやすくなり、きめ細やかな自立生活のサポートができることになる。予防段階から認知症の状態に応じた切れ目のない支援体制を深化させることができ、県下でも高水準の誇れる認知症施策となる。

その他の質問事項

- グリーンベルトの整備について
- 学校施設の整備について
- 学校統合における費用対効果について

清風クラブ

令和3年度施政方針について



宗實 雅典 議員

MASANORI MUNEZANE



市政推進の基本姿勢

問 山陽道龍野IC周辺エリアの基本調査等に着手とあるが①用途地域は、②建物の制限は、③PPPやPFIを導入した区画整理をしては。

答 ①龍野ICから四箇に至る龍野中央幹線沿線に複合商業施設の誘導を行うため、近隣商業地域拡大を考えている。②地元住民・地権者の意向調査や協議を進め、基本構想等を作成していく中で決定していく。③事業計画を立て

ていく中で、住民・行政・民間事業者が連携し、民間の活力を効果的に発揮できる手法について検討していく。

主要施策の概要



問 マイナンバーカード取得促進について

答 普及率は3月1日現在、26.7%で、県内41市町中28位。図書館の貸出券機能・健康保険証・運転免許証と一体化させる取り組みを推進する。キオスク端末で行政証明書を取得した場合の手数料を100円減額するなど普及・啓発活動に努める。

問 健康ポイント制度を取り入れた保健指導の①具体的な内容は、②マイナンバーカードと連携し、自治体ポイントとして普及させては。

答 ①食事・運動などの生活習慣の改善に関する目標を決め、ポイントが貯まれば健康グッズと交換するもの。②国の自治体ポイント制度見直し状況を見極め調査研究していく。

その他の質問事項

- 景観ガイドライン条例遵守
- 鶏籠山山城整備
- コロナ対策
- 道路横断通路安全対策
- 観光資源を活かしたスポーツ
- グランピング施設誘致
- 工業団地等の計画